

門川小
HPへ「QRコード」は、株式会社デン
ソーウェーブの登録商標です。

校長室通信

～ハートフル門小～



令和7年度 第3号（令和7年6月13日発行）

R7教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成 ⇒ 「知恵いっぱい・心いっぱい・汗いっぱい」

「時を守り、“場を清め”、礼を正す」

～5月全校朝会での話～

本紙先月号では、トイレのスリッパがなかなか揃えられない現状から、学校経営に関する数値目標項目の一つを「学年に応じた挨拶や廊下歩行（教職員アンケート75%以上）」⇒「トイレのスリッパを揃えている（3~6年生児童・教職員アンケート75%以上）」に変更した旨（「脚下照顧」の重要性）を紹介させていただきました。

その後、5月末の全校朝会で子ども達に話をする機会があったので、始業式で紹介した「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉をまず思い出してもらいました。これは、森信三氏（哲学者・教育者）の教えとしてよく知られている言葉で、本校の昨年度の課題を、子どもたちに意識させていくにはピッタリの言葉だと思います。小学生には意味が少し難しいかな…と思いつつも、子どもたちなりに理解できているような反応が返ってきたので、今年度の門小っ子の合い言葉として、機会あるごとに全職員で使っていくようにしています。

今回の全校朝会では、特に「場を清め」にスポットを当て、我が家にあった本『トイレの神様』（植村花菜著、宝島社）の紹介をした後に、その本を元に作詞・作曲された歌（右欄参照）の動画をみんなで視聴しました。この歌から何かを感じ取り、トイレをきれいに使う子ども達が少しでも増えるといいなあと思っています。

【↑全校朝会で使用した画像↓】
場を清める

「トイレの神様」

作詞：植村花菜・山田ひろし
作曲：植村花菜 編曲：久 隆信
小3の頃からなぜだか
おばあちゃんと暮らしてた
実家の隣だったけど
おばあちゃんと暮らしてた
毎日お手伝いをして
五目並べもした
でもトイレ掃除だけ苦手な私に
おばあちゃんがこう言った
トイレにはそれはそれは
キレイな女神様がいるんやで
だから毎日キレイにしたら
女神様みたいに
べっぴんさんになれるんやで

(2番へ続く)

コミュニティ・スクール6年目始動！

～地域・学校間の双方向性を重視～

6月3日の夜に、今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。この学校運営協議会では、学校や地域の課題解決のための具体的な手立てを協議しており、今年度も右表の10名の委員に委嘱しました。

今回は、「令和7年度学校経営方針」について委員の皆様に承認していただいた後に、以下のテーマで話し合っていただきました。今年度も大きく2つの取組（テーマ①②）について、「地域とともにある学校づくり」（学校支援）と「学校を核とした地域づくり」（地域活性化）を一步前進させていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。ちなみにテーマ③は、私たちのリクエストで話し合っていただきました。

『コミュニティ・スクール』とは、地域住民や保護者等が学校運営に参画するために協議する場（「学校運営協議会」）を設置している学校のことを指します！

委員氏名	役職等	備考
浜本 和樹	区長代表（上納屋）	継続
菊地 廣美	民生委員児童委員	継続
黒木 将人	企業等代表（水永水産）	継続
奈須 直美	幼保園代表（栄ヶ丘幼稚園）	継続
岩田 千種	社会福祉協議会	継続
坂本ヒサヨ	高齢者クラブ	継続
和角 敏之	スポーツ少年団（門川サッカー）	継続
松本 和志	前PTA会長	継続
本田 貴規	保護者代表（PTA会長）	継続
金丸 美代	地域学校協働本部員	継続

【テーマ①：防災教育（危険回避能力の育成）】一斉下校時避難訓練で、さらに地域連携を深めるには？

【テーマ②：あいさつ（コミュニケーション力の育成）】回覧板の手渡し運動やあいさつエピソード募集がさらに活発になるには？

【テーマ③：9月オープンスクール】どんな地域人材を講師として、どんな地域連携型（交流・体験）の参観授業を行うよいか？

7時30分～7時50分の間に登校を

～令和7年度の変更点【その②】～

朝の登校時間帯を昨年度の「7:20～7:50」から、今年度は「7:30～7:50」へと変更しました。理由は以下のとおりです。本来であれば、職員の出勤時刻と合わせて「8:00～8:10登校」としたいところですが（他県ではそういった学校が多いようです）、児童の家庭の都合等も考慮するとなかなか難しいです。

【理由①】早く児童を教室に入れても、多くの教職員が出勤しておらず、校内での児童の安全が確保できないため。

【理由②】教職員のサービス残業をできるだけ減らし、教職員の働き方改革を進めるため。⇒ 勤務時間8:00～16:30

教職員の働き方改革は、教員が楽をするための改革ではなく、「授業を中心とした質の高い教育活動に専念できる環境を実現するため」のものです。今年度からスタートした校納金（教材費や給食費等）の口座振替等もその一つで、改革は大きく前進しましたが、それでも昼間なかなかトイレに行く暇がなかったり、平日夜遅くまで丸付けや授業準備を行ったり、たくさんの荷物（仕事道具）を抱えて帰宅したり…等々、まだ改革を進めなければいけないと思っています。【裏面「働き方改革」に関する県教委資料】⇒